

平成29年度 地域中核企業創出・支援事業  
東北地域医工連携事業化ネットワーク事業

共催：神経救急カンファレンス

平成29年度第4回TRセミナー 大学院系統講義コース科目TR特論 I

# 脳卒中リハビリテーションと 社会参加ができる街づくり 健康医療福祉都市構想

日時

2017年 **9月27日** (水) **18:00-19:00**

講演会終了後、懇親会を予定しております。

会場

東北大学医学部 臨床講義棟 臨床中講堂

申込

ご参加希望の方は、下記メールアドレスまでお申込み下さい。  
懇親会参加希望の有無を申込み時にご記入下さい。

[asu@crieto.hosp.tohoku.ac.jp](mailto:asu@crieto.hosp.tohoku.ac.jp)

どなたでも  
ご参加頂けます

## 酒向 正春 氏

MASAHARU SAKOH



大泉学園複合施設施設長  
ねりま健育会病院院長 ライフサポートねりま管理者  
回復期リハビリテーションセンター長  
デンマーク/オーフス大学病院 脳神経病態生理学研究所 客員教授  
PET-Center & Functionally Integrative Neuroscience -Center (CFIN)  
愛媛大学医学部脳神経外科 非常勤講師

もともと脳卒中の治療を専門とする脳神経外科医として活躍。患者の残存能力を引き出し回復させていくことの重要性を感じ、2004年にリハビリテーション医へ転身した。以後、脳画像解析を基に患者がどこまでの運動が可能か、どこまで良くなるかを見極め、患者の能力を最大限に引き出す“攻めのリハビリ”を提供している。また、リハビリを終えた患者が帰宅後も病院を頼らずに日々の生活を楽しく送れる「街づくり」を自身のライフワークとして「健康・医療・福祉のまちづくりの推進ガイドライン」（国土交通省）の策定に従事している。

長嶋茂雄氏やサッカー監督のオシム氏のリハビリ医として社会復帰に大きく貢献  
NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」（第200回）“希望のリハビリ、ともに闘い抜く”で特集  
著書に「あきらめない力 “攻める”脳リハビリ医が挑む希望の人間回復」（主婦と生活社）、他